

子どもたちの健やかな成長をつなぎ、つむぐ

江別市 小中一貫教育

江別市の学校教育では、「夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向けて 行動する子ども」を、中学校卒業時点（15歳の春）の目指す子ども像としています。この目標の達成に向けた重要な教育施策として「小中一貫教育」に取り組んでいきます。

令和4年度から江別第二中学校区で先行導入し、その他の7中学校区でも試行的に実践を行ってきました。これまでの取組の成果を踏まえ、令和5年度から市内の全小中学校で小中一貫教育をスタートします!!

I 全小中学校で『目指す子ども像』を実現する取組を進めます!

江別市の目指す
子ども像
(15歳の春の姿)

夢を持ち、夢を語り、
夢の実現に向けて 行動する子ども

各中学校区の目指す子ども像

第一中学校区 (第一中・第一小・上江別小)

夢をいただき 仲間と共に
未来を拓く子ども

第二中学校区 (第二中・第二小)

先人の開拓精神に学び、高い理想をもって、
たくましく生きる子ども
～子どもの夢やチャレンジ精神をみんなで支えよう～

第三中学校区 (第三中・第一小・北光小・いずみ野小)

夢へのチャレンジ 人への優しさ
未来をひらく子どもたち

野幌中学校区 (野幌中・野幌小・東野幌小・野幌若葉小)

夢に向かい 行動する子

大麻中学校区 (大麻中・大麻小・大麻西小・文京台小)

ともに支え合い 夢や可能性に向かって
たくましく生きる子ども

大麻東中学校区 (大麻東中・大麻東小・大麻泉小)

- かんがえ、つたえあう子
- おもいやりのある子
- すこやかな子

江陽中学校区 (江陽中・豊幌小・江別太小)

- ～とよほろ こうよう えべつぶと～
- とともに学び やりぬく子(知)
 - こころざし高く 夢をいただく子(徳)
 - えがおあふれる たくましい子(体)

中央中学校区 (中央中・対雁小・中央小)

夢(目標)を持ち 粘り強くたくましく
学びあい高めあう子どもたち

『新しい時代』を生き抜く子どもたちに

3年間の準備・検討期間を経て、令和5年4月より、江別市では「小中一貫教育」をスタートします。8つの中学校区すべてが、小学校と中学校の「学びと育ち」を義務教育9年間という連続性のもとでとらえ直し、これまで以上に子どもたちの個性や能力を引き出し、伸ばす教育を展開していきます。

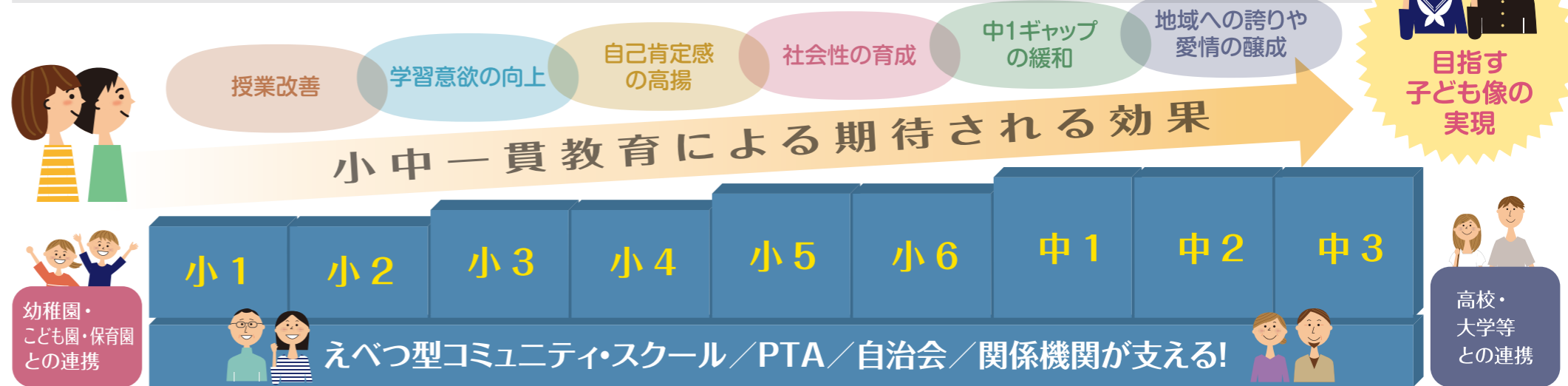
新しい時代を生き抜く江別の子どもたちの可能性を広げ、確かな資質・能力を育むことは、全市民共通の願いです。その実現のために、市内25の小・中学校が力を結集して前進してまいります。

保護者の皆様、そしてすべての江別市民の皆様、どうかご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



江別市教育委員会 教育長 黒川 淳司

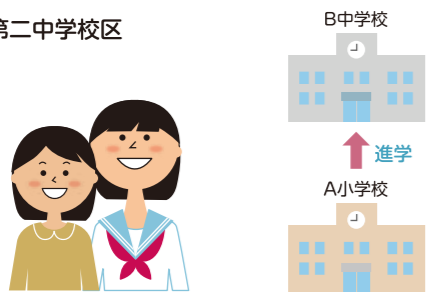
II 江別市の小中一貫教育は「系統的な指導」「一貫した指導」「相乗的・補完的な指導」の3本柱で進めます！



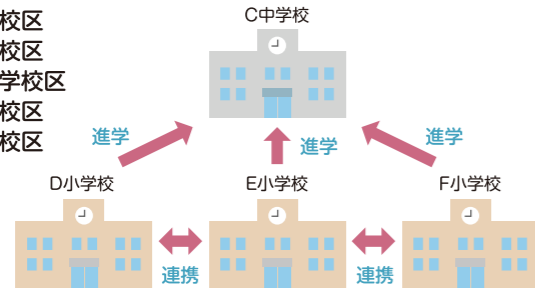
江別市の小中一貫教育の形態

施設隣接型

●第二中学校区

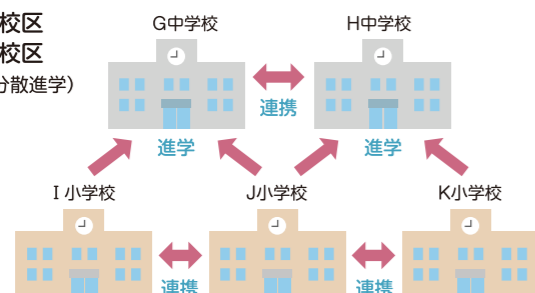


- 野幌中学校区
- 大麻中学校区
- 大麻東中学校区
- 江陽中学校区
- 中央中学校区



施設分離型

- 第一中学校区
 - 第三中学校区
- (第一小が分散進学)



系統的な指導

教科・領域の系統性や子どもの発達段階、強み・弱みを踏まえた教育課程に基づく指導等

【第一中学校区重点指導事項】

学力テストの結果などを踏まえ、小中9年間の重点単元や共通指導事項を明らかにし、それらを反映した年間指導計画に基づき、毎日の授業で系統的な指導を行います。

国語	○自分の考えを書く場面を設定します。 ○定期試験における記述問題を充実させます。 ○作文指導ではタブレットを活用します。	算数・数学	○たし算、ひき算、かけ算、わり算を確実に定着させます。 ○自分の考えを説明する力、書く力を系統的に指導していきます。
社会	○都道府県、地図記号、北方領土、国の名称と位置、海洋の名称を学年に応じて指導していきます。 ○北海道に関する教育を充実させます。	外国語・英語	○小学校では、さまざまな活動を通して語彙を増やしていきます。 ○小学校段階でアルファベットを書けるように指導します。
体育	○タブレットを活用した授業を進めていきます。 ○体力向上の取り組みを9年間続けていきます。	図工・美術	○他学年の作品を鑑賞し合える環境づくりを進めていきます。 ○彫刻刀や絵の具の使い方を共通指導していきます。
音楽	○9年間で表現することを楽しむ児童・生徒を育てていきます。 ○リズム打ち・遊びに日常的に取り組んでいきます。	技術・家庭	○玉どめ、玉結びなどの技能を小学校段階で身に付けさせます。 ○9年間を見通したプログラミング教育の充実を図っていきます。
総合	○SDGsの視点で指導計画を見直ししていきます。 ○キャリアパスポートを改善し、キャリア教育の充実を図ります。		

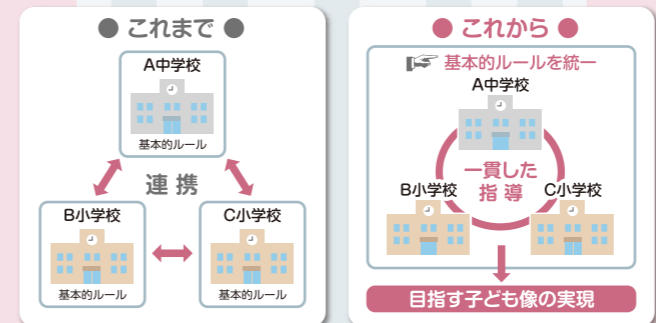
【第二中学校区の例】

小中学校9年間を通して生活科・総合的な学習の時間の中で「SDGs」について系統的に学びます。



一貫した指導

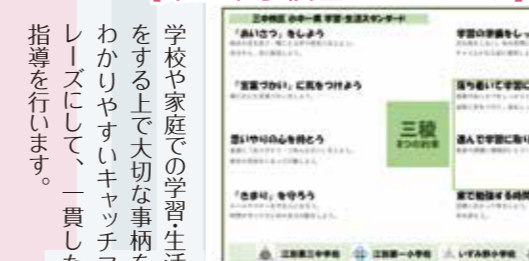
学習規律や生活規律等の「スタンダード」を揃えた指導等



【大麻中学校区スタンダード】



【第三中学校区スタンダード】



美術部の生徒がピクトグラムにしたスタンダードを、小中学校のすべての教室に掲示し、指導を行います。

相乗的・補完的な指導

中学校登校や乗り入れ授業、児童・生徒会交流活動、部活動体験等、系統的な指導や一貫した指導の効果を高める指導等



Ⅲ 保護者や地域の方々との連携を図ります！



中央中学校区学校運営委員会の合同開催



第三中学校区地域合同清掃

各中学校区では、PTAやえべつ型コミュニティ・スクール等との連携を図り、各種取組に関する理解と協力を得ながら小中一貫教育を進めます。

保護者や地域の皆様には、各中学校区の小中一貫教育の取組へご理解をいただき、家庭でのスタンダードや家庭学習、SNSの利用などについての指導、小中合同のPTA活動の推進などでのご協力をお願いいたします。

3人の子どもたちが小中と通ってきましたが、一貫した取組が年々レベルアップしていると感じます。子どもたちにとってはスムーズに中学校に入学できることが良いと思います。



先行導入した第二中学校区の
学校運営委員さんの声

Ⅳ 小中一貫教育



Q 1 どうして小中一貫教育を導入するのですか？

A 1 江別市の子どもたちは、落ち着いた雰囲気の中で日々の学習や生活に一生懸命取り組んでおり、学力や体力は全国平均と同水準であるなど、これまでの教育実践の成果により着実に力を伸ばしています。

しかし、近年は、子どもたちを取り巻く環境は急激に変化しており、学校が抱える課題も多様化・複雑化し、これまで以上に学校間の連携や家庭・地域と協働した取組が必要な時代になってきました。

江別市では、これまでの学校教育の成果を生かしつつ、小中の教職員が義務教育9年間で「目指す子ども像」の実現に向けて、「系統的な指導」「一貫した指導」「相乗的・補完的な指導」を行うことによって、教育活動をより一層充実させ、子どもたちの学びをさらに豊かなものにしていくために小中一貫教育を導入します。

Q 2 今の校舎は建て替えになるのですか？

A 2 建て替えはせず、今の校舎をこれまでどおりに使います。小学校から中学校まで1つの校舎で学ぶ「義務教育学校」は導入せず、「施設隣接型」と「施設分離型」の小中一貫教育を進めます。小学校を卒業し、中学校へ進学することは変わりません。

Q 3 小中一貫教育を進めると、どうして自己肯定感が高まるのですか？

A 3 子どもたちは、自分のよさを実感したり、自分に自信を持ったりする経験を重ねていくことで、自己肯定感を育んでいきます。小中一貫教育では、小中合同授業や小学生の部活動体験、中学生による長期休業中の小学生への学習支援、児童会・生徒会の交流活動、地域の合同清掃活動など、小中9年間をまたがる様々な異学年交流の取組を通して自己肯定感を高めます。

Q 4 学年の区分はどうなるのですか？

A 4 これまでと同じように小学校6年、中学校3年の学年区分のまま、小学校入学から中学校卒業までの9年間を見通した教育を進めていきます。

Q 5 地域にはどんな効果がありますか？

A 5 各中学校区が、家庭や地域と「目指す子ども像」を共有し、理解・協力を得ながら各種の小中一貫教育の取組を進めていくことによって、子どもたちの地域に対する誇りや愛情が育まれ、地域の活性化にもつながっていくと考えられます。

江別市における小中一貫教育の内容や、各中学校区の取組状況などはホームページからもご覧いただけます。

